

令和元年度 二宮町ごみ減量化研究会 会議記録

日 時：令和元年 8 月 22 日(金)

午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分

場 所：二宮町町民センター 2 A クラブ室

出席者：高橋委員／内海委員／浅田委員／露木委員／西川委員／岡部委員／男成委員

事務局：和田生活環境課長／二宮生活環境班長／岡部主任主事

1. 開 会

2. 会長及び副会長の選任

3. あいさつ

会 長：プラスチックによるクジラなどの生態系への問題が話題となっていて、世界的な動きとなっている持続可能な開発目標（SDGs）では、貧困の解消や気候変動対策など 17 の目標を掲げているが、その中に「つくる責任・つかう責任」や「海の豊かさを守ろう」など、ごみに関わることが掲げられています。私たち人間がごみの問題について考えていかなければならない中で、まずは、二宮町のごみ問題について当研究会で考えていきたいと思います。

4. 議題

(1) 二宮町の廃棄物処理の現状について

『二宮町の廃棄物処理の現状』について事務局より説明

【質問・意見等】

会 長：平成 30 年度ごみ処理量実績と平成 29 年度ごみ処理量実績の対前年比で、有害ごみの処理量が約 4 割程度増えているが、何か要因はあるのでしょうか。

事務局：はっきりした原因はわかりませんが、ご家庭でためていたものが、その年に多く出されてしまったのではないかということも考えられます。

委 員：有害ごみには、例えばどのようなものがありますか。

事務局：ライター、乾電池や蛍光管などがあります。

委 員：平成 26 年度と平成 27 年度の処理量実績を比べると、平成 27 年度の可燃ごみ、不燃ごみが増えていて、資源ごみ、粗大ごみが減っていますが、何が要因ですか。

事務局：平成 27 年度のごみ処理広域化により、大きく収集区分の変更がありまして、草葉類が資源ごみから可燃ごみに変わり、家具類などが粗大ごみから不燃ごみに、プラマークが付いていない硬質プラスチックなどが資源ごみから不燃ごみに変わったことなどが要因です。

- 委員：ごみの総排出量は大きく変わっていないということですね。
- 委員：1人1日当たりの総排出量原単位が減っていますが、町の人口減少の影響ですか。
- 事務局：人口減少による影響もあるかと思いますが、計画値というのは人口減少と減量化策などを見込んで算出しています。減量化策がなかなか浸透していかないことで、計画値に11g達していないということだと思います。
- 委員：今でも生ごみ処理機の補助制度はありますか。
- 事務局：ご家庭用の生ごみ処理機について、継続して補助制度を設けています。最近では、消滅型の生ごみ処理機キエーロをPRしています。
- 委員：町の補助制度を利用して、町商工会が販売しているキエーロを購入しましたが、臭いも出ないですし、使いやすくて良いと思います。普及させるのは大変ですか。
- 事務局：現在、役場庁舎入口のところに展示しており、フェイスブックでも紹介しました。使用方法などを紹介したPR動画を作成中で、町ホームページやフェイスブックに掲載したり、イベント会場などで放映したりして、普及啓発を図っていきたいと考えております。
- 委員：水分ひとしぼりなど、みんなができることを推進していかないと減量は厳しいのではないのでしょうか。水分ひとしぼり運動は、町民の皆さんが共通して簡単にできるものだと思いますので、大きな効果を得られるはずですよ。
- 事務局：平成30年度の水分率が49%となっていますが、さらに低くなるよう水分の減量を図っていきたく思っています。水分ひとしぼり運動のほかにも、3切り運動というもので、「使いきり・食べ切り・水切り」というものもありますので、こういったものを併せて啓発していければと思っています。
- 委員：町の指定ごみ袋に水分ひとしぼりなどの啓発文を印刷してみてもどうでしょうか。町の指定ごみ袋を購入したり、使用するたびに、目に留まるようになって良いと思いますが。
- 事務局：実現できる手法だと思います。
- 委員：絞るといっても具体的にはどうやって絞ればいいのか、漠然としたメッセージで分かりづらいようにも感じます。
- 事務局：基本は手で絞る方法になるかと思いますが。
使わなくなったCDやペットボトルで押しつぶして絞る方法や、ネットに入れて、外で一晩乾かしてから捨てる方法などもあります。
- 委員：手で絞れば水分の半分は減ると思います。
- 会長：みんなですべてできて、効果のあることを積極的に進めていければ良いと思います。

(2) ごみ減量化策について

『ごみ減量化策』について事務局より説明

【質問・意見等】

会 長：ごみアプリの導入とは具体的にはどういったものですか。

事務局：スマートフォンで登録をすると、前日にお住まいの地区に合わせた収集日や収集区分を教えてくれるものです。

委 員：全員ができれば良いですけどね。

事務局：どちらかと言うと若い方向けの対策になります。

会 長：確かに若い方向けには良いかもしれませんね。

事務局：分別の啓発方法については、冊子（紙媒体）とアプリの2本立てで考えています。

委 員：冊子では、細かい品目に分かれていないので、何ごみで捨てれば良いのか分からないことがあります。

事務局：混合ごみなど、判断が難しい場合は、直接問い合わせをいただく方が宜しいかと思えます。

委 員：間違えて出した場合に、シールで正しい分別区分を教えてもらえるので助かっています。

委 員：ライターや電池などの有害ごみがほかのごみに混入すると、発火する恐れがあります。

（3）その他

『その他』について事務局より説明

【質問・意見等】

委 員：ごみのガイドブックは毎年更新していますか。

事務局：平成27年10月作成のものから変更ありませんので、更新していません。

委 員：ぜひ、もう少し簡略化して分かりやすい内容に更新してもらいたいです。

事務局：5年経ちますので、そろそろ改訂の時期かなとは考えております。

基本的な区分は変わりありませんが、細かいところでいくつか修正がありますので、反映させていきたいと思えます。

会 長：字が大きくて見やすいですが、紙使用削減の観点から、会議資料は2UPで印刷しても良かったかなと思えます。

4. 閉 会